

町立三春病院ニュース

『世界結核デー』 3月24日



WHO(世界保健機関)は1997年に毎年3月24日を「世界結核デー」としました。1882年、ドイツのロベルト・コッホ博士が結核菌発見を演説した日に由来しています。

日本でも永い間死の病として恐れられていましたが、医療や生活水準の向上により、完治できる時代になりました。しかし、今でも年間2万人以上の人々が新たに結核と診断され、2000人もの人々が命を落としています。結核を予防するには、免疫力が低下しないよう規則正しい生活を心がけること、定期的に健康診断を受けることが重要です。

三春病院運動教室開催 2月2日～3月29日(全9回)

2月2日より9回にわたり、三春町の委託を受け通所型介護二次予防「三春病院運動教室」を実施しています。

- ① 自分に合った運動を見つけて継続する
- ② 気力・体力をつけて現在の生活を豊かにしていく、
- ③ 目標・夢を持っていつまでも健康づくりにチャレンジする

の3つを運動教室の目標としています。初日は、担当スタッフより介護予防の必要性を説明した後、体力測定を実施し、参加者の身体機能の評価を行いました。

今後は集団活動(ストレッチ・マッサージ)、健康体操、担当スタッフによるミニ講義などを実施する予定です。



オリエンテーション



膝を伸ばす筋力の測定



片足立位の時間測定

節分の豆まき 2月5日

東病棟のダイルームで、節分の豆まきを行いました。「鬼は外、福は内」の掛け声で、鬼に扮した職員に豆に見立てた丸めた紙をぶつけ、沢山の福が訪れるように願いをかけました。参加した患者さんからは「楽しかった」との感想を頂きました。

